

みずほCustomer Desk Report 2023/01/06号 (As of 2023/01/05)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	132.16
TKY 9:00AM	132.29	1.0605	140.27	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	134.04	1.0631	141.32	1.2052	0.6825
SYD-NY Low	131.69	1.0515	140.01	1.2080	0.6844
NY 5:00 PM	133.41	1.0521	140.40	1.1873	0.6737
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,930.08	▲ 339.69	日本2年債	0.0200%	▲0.0100%
NASDAQ	10,305.24	▲ 153.52	日本10年債	0.4200%	▲0.0300%
S&P	3,808.10	▲ 44.87	米国2年債	4.4628%	0.1083%
日経平均	25,820.80	103.94	米国5年債	3.9193%	0.0747%
TOPIX	1,868.90	0.75	米国10年債	3.7210%	0.0317%
ソコ日経先物	25,710.00	▲ 150.00	独10年債	2.3045%	0.0390%
ロンドンFT	7,633.45	48.26	英10年債	3.5470%	0.0585%
DAX	14,436.31	▲ 54.47	豪10年債	3.8510%	▲0.0530%
ハンセン指数	21,052.17	259.06	USDJPY 1M Vol	14.51%	▲0.30%
上海総合	3,155.22	31.70	USDJPY 3M Vol	13.18%	0.08%
NY金	1,840.60	▲ 18.40	USDJPY 6M Vol	12.13%	0.05%
WTI	73.67	0.83	USDJPY 1M 25RR	▲1.35%	Yen Call Over
CRB指数	263.69	▲ 0.48	EURJPY 3M Vol	12.45%	0.13%
ドルインデックス	105.04	0.79	EURJPY 6M Vol	11.92%	0.19%

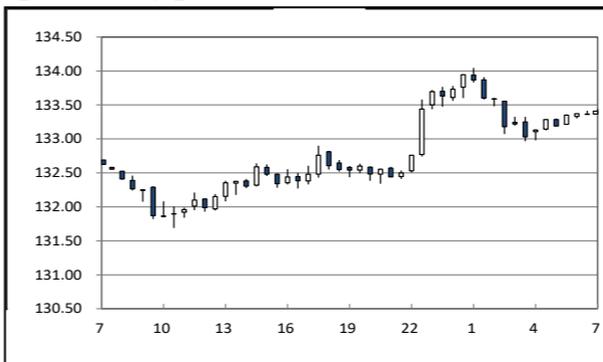
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月5日	10:45	中 Caixinサービス業PMI	12月 48.0	46.7
	19:00	欧 PPI(前月比/前年比)	11月 -0.9%/27.1%	-0.8%/27.5%
	22:15	米 ADP雇用統計	12月 235k	150k
	22:30	米 貿易収支	11月 -\$61.5b	-\$63.0b
	22:30	米 新規失業保険申請件数	31-Dec 204k	225k
	23:45	米 サービス業PMI	12月 44.7	44.4

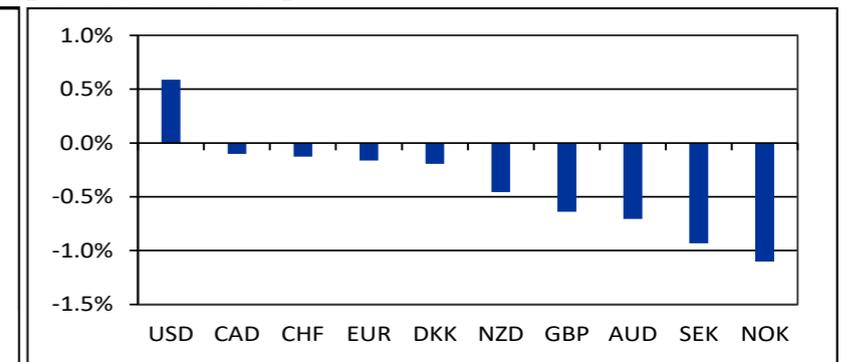
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月6日	19:00	欧 消費者信頼感・確報	12月 -22.2	-22.2
	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)・速報	12月 -0.1%/9.5%	-0.1%/10.1%
	19:00	欧 コアCPI・速報	12月 5.1%	5.0%
	19:00	欧 小売売上高(前月比)	11月 0.6%	-1.8%
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	12月 202k	263k
	22:30	米 失業率	12月 3.7%	3.7%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	12月 0.4%/5.0%	0.6%/5.1%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	132.50-134.50	1.04500-1.0600	139.00-142.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は海外市場で上昇した。東京時間のドル円は132.29レベルでオープン。仲値後には131.69まで下落するもその後は132円台に戻し、徐々にドル買い優勢となると132.34レベルで海外に渡った。海外時間に入り、12月ADP雇用統計や新規失業保険申請件数等の指標が軒並み市場予想を上回ったこともあり、米金利の上昇を横目にドル円も134.04まで上昇。その後はブラッド総裁のハト派な発言や利益確定の売りもあり上げ幅を縮小すると133.41レベルでクローズした。  
本日もドル/円は上昇すると予想。本日は米12月雇用統計を控える。今週のドル円は発表された米の労働市場関連の指標が堅調だったことがサポートされ上昇。労働市場への関心が高まる中で、結果次第ではFedの利上げ継続トーンを裏付け、上昇圧力が高まると予想する。また、本日はFed高官の発言が数多く控えており目新しい発言があれば警戒したい。

東京	4日の堅調な米経済指標の内容を受けたドル高が一服し、オアニア時間に反転して東京時間は132.29レベルでスタート。仲値後には131.69まで下落するも、手掛かり難のなかで132円ちょうど近辺での推移となり、午後はじりじりとドル買いの勢いが強まって132.64をつけて132.34レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、132.34レベルでオープン。目新しい材料に欠けるなか、約60銭のレンジで動意なく推移し、132.76レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場で中国サービス業PMIが予想を上回り、円売りが強まる中、ドル買いも強まったことからドル円は132.90まで戻し、132.76レベルでNYオープン。朝方は米12月ADP雇用統計が予想を大きく上回り、続いて発表された新規失業保険申請件数も予想を上回ったことから、Fedがより効派になるとの思惑から米金利が上昇する中、ドル買いが優勢となり、サービス業PMIが予想を上回ったこともあり、134.04まで戻す。午後は明日の米雇用統計を控え金利が上昇幅を縮小する中、ドル円も利食い売りに132.97まで反落したが、終盤に掛けてドルが買い戻されたことから133.41レベルでクローズした。一方、ユーロドルは1.0631まで戻すが、その後はドル買いが優勢となり、1.0600レベルでNYオープン。朝方はADP雇用統計や新規失業保険申請件数結果を受けたドル買いに1.0515まで下落する。午後に入りドルの調整売りから1.0543まで戻す局面もあったが、終盤に掛けてドルが買い戻されたことから再び1.0516まで下落し、1.0521レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木・逸見